

学生を対象とした防災リーダー育成プログラム

**『びわふえす ～「もしも」の時に備えよう！1泊2日避難所運営体験プログラム』
を開催します。ぜひ取材にお越しください。**

近年、大規模災害が相次ぐ中で、避難所の設営・運営や災害医療・心のケアなどを実地で体験し、将来、災害時に地域で活躍できる若者を育成することを目的に、**高校生・大学生を対象とした災害対応リーダー育成プログラム『びわふえす ～「もしも」の時に備えよう！1泊2日避難所運営体験プログラム』を、本学医学部学生が中心となり開催いたします。**

本企画では、**若い世代が災害時に地域でどのような役割を担えるのか、自治体・関係機関の協力を得て、実際に避難所生活を体験しながら、運営や医療支援の現場で必要な知識・スキルを知ること、災害時に「自分ごと」として行動できる学生を育成します。**

このような本学ならではの取組みについて広く県民の方々等に知っていただきたく、報道機関の皆様におかれましては、本件について周知いただくとともに、ぜひとも取材にお越しくださいますよう、お願いいたします。

開催概要

【開催日時】2026年8月29日（土）10：00～8月30日（日）17：00（1泊2日）

【場 所】滋賀医科大学 武道場等（滋賀県大津市瀬田月輪町）

【参加者】高校生・大学生（定員約60名）

（※8月30日「ぼうさいふえす」は、防災に興味がある一般の皆さまも当日無料でご参加いただけます）

【内 容】第1日目：避難所運営ゲーム（リアルHUG）、災害関連講義、メディカルラリー、非常食調理・試食、夜間避難所シミュレーション（EV活用含む）

第2日目：ぼうさいふえす、医師講演、阪神淡路大震災報道アナウンサー講演会

【主 催】びわふえす

【共 催】滋賀医科大学国際保健・地域医療研究会 TukTuk 他

【後 援】国立大学法人滋賀医科大学

【協 力】尾西食品株式会社、滋賀日産自動車株式会社、アルファード食品株式会社、株式会社ブルボン、滋賀 DMAT



避難所設営の様子



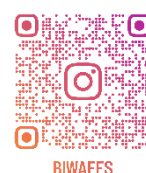
起震車体験の様子



災害医療講義の様子
（参考：昨年のプログラムの様子）

★「びわふえす」のご紹介★

病院を医療のハブから地域のハブへ。をモットーに活動する学生団体。病院を身近な、そして少しでも笑顔の溢れる場所にするため病院祭等の企画を通して医療のハードルを下げようと積極的に活動中。滋賀医科大学学生や成安造形大学生、膳所高生が所属し、住民、医療者、学生が共に育つ新しい医療の形を目指している。



BIWAFES



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

Press Release

プログラム概要

【第1日：8月29日（土）】

・ **10:00 オープニング**

被災地の真実を知り、これから始まるラリーへの「自分ごと化」を促す

・ **11:30 防災食ランチ「そのままの非常食」**

・ **13:00 避難所メディカルラリー開始（各チームがローテーションで体験）**

チームで様々なシチュエーションへの介入対応を競う体験型競技。

・ **17:00 振り返り、解説、講演会**

・ **19:00 夕食**

非常食をアレンジした料理を実際に調理して避難所での食について考え、実際の避難所で使うことのできる知識を共有する。カセットコンロ、給湯器等の必要最低限のものを使用する。

・ **21:30 夜間シミュレーション開始（混乱の再現・宿泊体験）**

1泊2日という特性を活かし実際の暗闇を使用することで、余震による停電時の対応など、日中の訓練では発見できない課題を発見する機会とする。EV自動車を使用することで、照明の重要性に気づくイベントも実施予定

【第2日：8月30日（日）】

・ **11:00 ぼうさいふえす**

・ **11:30、12:15、13:30、14:15 医師による講演**

・ **15:30 報道アナウンサーによる講演**

【～参加お申込みについて～】

参加ご希望の方は、以下の該当する QR コードよりお申し込みください。

※取材申込については、滋賀医科大学総務企画課広報係までお電話またはメールにて直接ご連絡をお願いします。

1泊2日（宿泊）でお申込みの方	30日（日）のみご参加の方
【対象：高校生・大学生】 ※29日～30日 全日程 参加費：3,000円～5,000円 	【対象：防災に興味がある皆さんなどでも】 ※30日のみ参加の場合は、参加費無料 

一【熱中症対策】 以下の対策を徹底し、安全な運営を図ります一

- 水分・塩分補給の徹底：各ブースおよび宿泊エリアに給水所を設置し、定期的な水分補給をアナウンスする。
- 空調管理と休憩場所の確保：武道場およびCMCホール等の空調を適切に運用し、体調不良者が早期に休める休憩室を確保する。なお、基本的な活動場所は屋内とする。
- 冷却グッズの用意：氷嚢や冷却シートを救護用備品として準備する。

【本件に関するお問い合わせ】

びわふえす実行委員会 代表

滋賀医科大学 医学部医学科第3学年 小池奈都世

E-mail：biwafes@gmail.com

Web サイト：https://biwa-fes.studio.site

Instagram：https://www.instagram.com/biwafes

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

滋賀医科大学 総務企画課広報係

TEL：077-548-2012（担当：板垣）

E-mail：hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp